

「オリーブ事業参入の支援窓口」開設による地域活性化支援について ～オリーブ事業を振興します～

百十四銀行(頭取 渡邊智樹)は、日本政策金融公庫高松支店農林水産事業と連携して、オリーブ事業に参入する企業等に対する支援窓口を平成28年7月15日に設置しましたのでお知らせします。

本件は、香川県が策定する「かがわオリーブ産業強化戦略」の目標達成に向け、金融機関が連携してワンストップサービスの窓口となり、地方公共団体や支援機関等と連携して、オリーブ事業に参入する企業のサポートや様々な問題解決に取り組むものです。

当行は、香川県の主要産業であるオリーブ産業振興への積極的な取組みを実施してまいります。

記

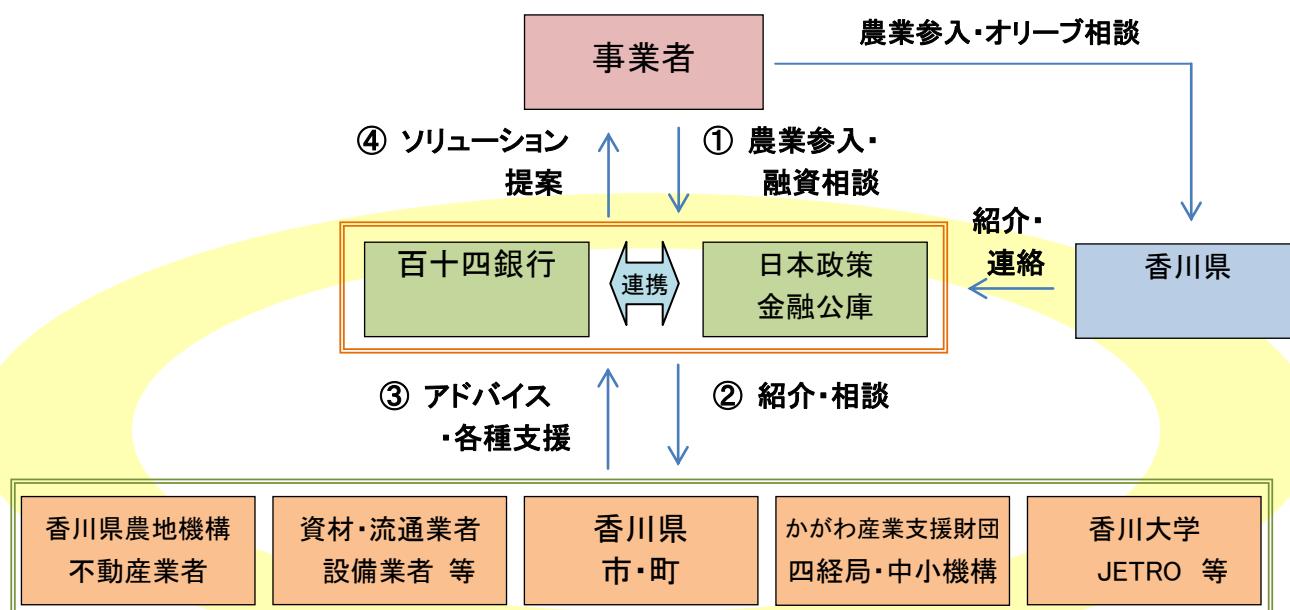
1. 支援窓口体制

百十四銀行および日本政策金融公庫高松支店農林水産事業を相談窓口として適宜連携して事業者さまからのご相談に応じます。当行では、営業統括部地域活性化室アグリサポートデスクに所属する行員で、農業経営上級アドバイザー及び農業経営アドバイザー資格を有する者2名がご相談に応じます。

2. 具体的な取組内容

- ・生産開始から加工・販売までの各ステージに応じたサポートを実施
(例：農地の相談、事業計画作成、補助金・ファンド活用、ビジネスマッチング、商談会等)
- ・苗木の増産、農地集約等の生産規模拡大における問題解決等
- ・オリーブに関する勉強会、セミナー等の共同開催

<支援窓口体制・連携イメージ>



以上

(参考)

1. 相談受付した主な事業

(1) 丸亀市「丸亀ブランド戦略」に基づくオリーブ事業

・丸亀市でのオリーブ事業開始による農業振興

(2) 個別案件

・農業法人のオリーブ事業計画作成サポート等

2. 今後検討を進める主な事業

(1) オリーブ苗木の増産に向けた取組み

(2) 耕作放棄地の活用、農地集約の促進

(3) オリーブに関する勉強会等の開催

○農業経営上級アドバイザー

農業経営アドバイザーの上級資格として、平成 23 年に創設。農業経営に対する十分なアドバイス経験を有し、難易度の高い経営課題に対して実践的なアドバイスが可能な、活動歴が 3 年以上の農業経営アドバイザーが受験対象。6 次産業化、新規就農、異業種からの農業参入、ブランド化など、より高度な経営課題に対して適切にアドバイスできる専門家として、農業者等への経営支援が期待される。現在の合格者は全国 51 名（うち四国 3 名）。